

連盟ニュース

290

神奈川 3

2009.3.10



「タカマタギへのアタック」新潟県・タカマタギにて(県連リーダー養成学校・深雪実技山行)

撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

巻頭言 平成21年を展望して	理事長 後藤真一	2
定期理事会のお知らせ		3
第14回全国登山者自然保護集会実行委員会のまとめの会合		3
全国連盟評議会での議事概略について	県連事務局 小野寺英夫	3
登山リーダー養成学校募集要項、スケジュール	教育部	5
登山リーダー養成学校申込書		8
「群馬県谷川岳遭難防止条例の改正について」		9
2009クリーンハイク第1回実行委員会の報告		10
丹沢水質調査のお願い	自然保護委員会	11
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		12
事務局長会議報告		14
登山時報紹介		11
県連のスケジュール		14



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

発行責任者 後藤 真一 編集責任者 村松 勝

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

巻頭言

平成二十一年を展望して

理事長 後藤 真一

平成も早いもので21年目を迎える。昭和でいえば第二次大戦の終戦を迎えた翌年であり、おそらくはどん底と秩序の崩壊に、何を抛り所にすればよいのか混迷と失望が蔓延していた年ではないであろうか。形とレベルは違うにせよ、グローバルスタンダードとネットワークが一気に連鎖した現在は、良くも悪くもその源頭から溢れ出る量的又は質的なインパクトが余りにも大きく寄れば大樹の陰的な生き方はいよいよ転換を強いられてきている感がある。

現在一般登山者の主流を占める世代は、概ね資本集約的産業を背景として登山活動をしてきたと思うが、今後の主流に育ってほしい世代の背景は知識集約的産業である。従ってその価値観も「協調性、従順さ、ジェネラリティそして忠誠心」から「独創性、自発性、スペシャリティとそれに対する向上心」へと変化している。山岳史上にその名を轟かせてきた同人や山岳会の運営は、やはり前者の価値観を土台に成功を収めたと思うが、それは今後の主流に育ってほしい世代には到底そぐわない。

全国的に見ても各組織の平均年齢が一気に加速した理由は、マイノリティは他にあるにしても、この辺りあるのではないだろうか。また、自分のできること以上はしない、という感覚も当該世代に多く聞かれる。登山レベルにも同様で、以前の「より高く、より難しく」を目指し、目標をその一点に絞って、そのために何をするか、という以前は当たり前の意識が、一部を除き軽薄になってきている。だから大抵の登山者に山岳会は不要になってくる。勝手な推測でしかないので気分を害し

た方にはご容赦願いたいと思う。

さて今後我々組織登山者の方向性は、この二極化又は多様化した登山者の価値観の中であればむしろは全方位的な視野で取り組まなければならないと思う。当然従来からの価値観ではその役割を遂行することはできない。かといって会や連盟がなくなれば、到底個人ではできない「山を、登山者を、守り、共生する」活動ができなくなってしまう。先輩諸兄が不断の努力で守ってきたものがあるから今の我々があるので、形は違えども山を無法地帯にしてはならないはずだ。「伝承」は山において、どんなに時代環境が変化しようがその行為自体消失されてはならない。会の中だけではなく、会を超えてだってよい。

会運営に行き詰まったり、会員の意識改革を望んでいる人たちがいるならば、古参のすばらしい経験者が会を超えていらっしゃる。そのような人を自会に招いてお話を聴いてもよいのではないかと思う。また会を超えて山に登り、岩を攀じり、品疎な飯を共に喰うのでもよいのではないだろうか。もちろん会の中だけでそれができれば理想なのだが。

連盟はそれらも含めた環境整備を充実させなくてはならないであろう。未組織登山者をどう取り込むかだけでなく、未組織登山者を前提とした活動と環境獲得を早々に着手しなければならない年でもある。



定期理事会のお知らせ

以下の通り定期理事会を開催します。理事の方のご参集をお願いします。また、理事を出されていない会はどなたか代表の方の出席をお願いします。

日 時 2009年3月15日(日) 13時～15時30分

場 所 川崎市生涯学習プラザ 201会議室 川崎市中原区今井南町514-1

内 容 2008年度後半のまとめ。2009年度の予定。

第14回全国登山者自然保護集会実行委員会の最終実行委員会

日 時：2009年3月15日(日) 15時45分～17時

場 所：川崎市生涯学習プラザ 201会議室 川崎市中原区今井南町514-1

内 容：集会の報告、他

全国連盟評議会での議事概略について

(09年2月21日・22日東京晴海で開催)

報告者： 県連事務局 小野寺英夫

1. 承認された提出議案

- (1) 08年度の活動総括と09年度の活動方針
- (2) 新保険業法から労山遭対基金を守るたたかいかいの方針(定款から規定に改めるを含む)
- (3) 労山新総合戦略及び新メディア戦略の提案
- (4) 08年度の一般会計、特別会計、遭対基金会計及び特別基金会計の決算報告と監査報告
- (5) 09年度の一般会計、特別会計、遭対基金会計及び新特別基金会計の提案

以上に関する提案・説明書類及び関係資料は、県連事務局で保存、閲覧に供しております。

2. 評議会の主な目的と課せられた課題

- (1) 組織の衰退打破と21世紀登山前進の新戦略の具体化
- (2) 「新特別基金」の新設と新保険業法とのたたかいかい方針
- (3) 地球温暖化への登山団体としての対応と活動について
- (4) 遭難対策活動の一層の強化について
- (5) 創立50周年記念行事の準備について

3. 09年度各分野の活動方針(概略)

- (1) 新保険業法から労山遭対基金を守るたたかいかい
09年4月以降のあり方については、神奈川・連盟ニュー・ス2月号9ペ-ジのB案の「労山新特別基金」方式をご参照下さい。尚、この度の評議会に現行の遭難対策基金定款を整備し、09年4月以降の運営に備え法律に対応させた「労山新特別基金規定と細則」が上程されました。
- (2) 組織強化と拡大の活動

労山の会員数は、08年12月末で681団体(前年比12団体減)、会員数20,578名(前年比611名減)で、現状維持から反転増加対策が21世紀

の重要課題である。

新メディア戦略がスタートし、ホ-ムペ-ジのリニュー-アルと「特別実証区」の設定から活用の段階に移った。優待施設に続いて各会・クラブ紹介を充実し、新規会員の獲得につなげる。加盟団体の組織実態調査アンケートの結果を分析し必要な対応をする。青年学生団体の技術教育システム、子供や家族を対象とした活動を検討していく。基金の問題が解決次第「新労山リ-フレット」を作成する。「指導者セミナー」の内容を精査し、開講する。新会員証について民間企業と連携し具体的な見積りをとる。

- (3) 多様な登山活動の発展に向けて

海外登山にとって円高傾向は追い風、ネパ-ルの民主化、パキスタンの政情不安などの影響はあるが、全国連盟8000m峰登山隊は中国側からチョ-オユ-、シシャパンマの連続登頂を目指し、女性のためのヒマラヤ学校では今日まで日本人登山者が少なかったインドヒマラヤへ向かう。海外での登山やクライミングの普及に日本人登山者が参加できる環境を整えたい。

組織には所属していないが、ハイキングや自然志向の人々は老若男女を問わず多数存在し、手軽なツア-登山やウォ-キングなどに参加している。これらの層の指向に合わせるためにウォ-キング、ハイキング、自然観察会、クライミング、沢登り、スノ-シュ-ハイク、山スキ-など労山加盟団体の情報をホ-ムペ-ジやメ-リングリスト、労山ニュー-ス、登山時報などで共有することにより、各団体の得意分野の活動を組織外にも広めていく。次世代を担う青年学生から家族・子供を対象にした講習会・講演会

・セミナー - を開催し、登山の楽しみ方と危険に対する対応を普及していく。

(4) 遭難事故防止の活動と教育活動

08年の労山内における遭難事故一報によると、事故者数302人、死亡行方不明6人となっている。事故の特徴としては、中高年登山者が多くを占める。その中でも70歳前後の転倒骨折が目立っている。今まで増加してきた事故に対して、減らすための具体策に照準を合わせられないまま現在に至ったが、全力で全国連盟担当者で地方連盟担当者との連携を強めて、具体策が講じられる体制を整えたい。キ・ワ・ドとして最も事故の多い50・60歳代に照準を合わせ、基礎的な技術・体力向上などの維持を教育活動の中で普及し補っていく。もう一つのキ・ワ・ドは毎年連続的に多発する会の事故を減らす事があげられる。地方連盟担当者で連携をとり、事故減少の具体的な諸対策を提案していきたい。

(5) 自然保護憲章と自然保護活動の強化

憲章の「目」で自然保護活動が行われてきているが、全ての地方連盟・山岳会・山の会・クラブで取り組まれている状況ではない。各地方連盟の優れた取り組みを広く普及させ習慣化していく。今日の地球温暖化の進行は憲章の理念を更に強化させる必要性を生じさせている。

(6) メディア活動

神奈川・連盟ニュー・ス2月号9ページ掲載、21世紀の「労山らしさ」と「労山の新しい魅力」を求めてをご参照下さい。

(7) 山岳4団体中心に、自然保護分野7団体など登山界の共同の活動

(8) 労山創立50周年記念行事の推進

(9) 全国労山事務所に山岳図書室の開設準備

(10) 遭対基金管理委員会

加入者は20,212人(09年11月末会員数に対する加入比率は95.4%、前年度比93人減)である。3月末までの遭対基金の払込金、4月以降の特別基金新規申込者の更新手続きに伴う払込金、又4月以降12月までの特別基金の申込額を合算した数字は、約8千万円(前年度比約5百万円減)であった。

給付件数は、204件(前年度比36件減)で、給付金額の合計は、約3千6百万円(昨年実績比1百万円減)であった。

・給付申請の審議：ハイキングクラブの例会山行での給付申請では、山行案内を計画書として添付するとコ・スや参加者の氏名が確認できないこともあり、詳しい計画書が作成されていない場合には所定の山行実績報告書の提出を求めることとした。ウォ・キングの給付対象については、所属団体の例会等の主催企画に限り認め、

個人による場合は対象外とする。

・労山特別基金の対応：新制度の理解を広めるため、地方説明会などに積極的に対応し組織の強化に努める。又加入者の意見や要望、疑問などを積極的に集約し、今後の活動改善に生かしていく。

(11) 登山時報

登山時報の活動は、会員・ボランティアに依頼した紙面づくり、基本情報である各会の会報整理、長期連載の変更、特集プロジェクトの新設、編集費用の削減などであった。09年度は、大きな特集・外部依頼記事を増やし魅力を促進させる。労山メディア戦略と連携し、役割の分担化の促進。企画・取材・整理をする編集部員の強化。広告などでの経営収益向上と部数拡大のための担当を全国連盟に設置。登山時報読者との交流の促進に注力する。

(12) 海外委員会

09年度は、チョ・オユ・トシヤパンマに全国連盟隊を派遣する。第21回全国海外登山集会の開催。アンナプルナ(ネパ・ル8091m)登頂を目指し、偵察を兼ねティリチョヒマ・ルへ全国隊を派遣する。

(13) ハイキング委員会

09年度は、地方連盟のハイキング活動状況把握のため、ハイキング担当者会議を開催。ハイキング交流集会の開催、セカンドステップの改定作業を推進する。

(14) 女性委員会

09年度は、全地方連盟に女性担当者を！、女性セミナーの普及・拡大、西日本女性担当者交流集会和、東日本女性登山交流集会和を予定、50周年記念女性委員会企画「インドヒマラヤ学校」開催を推進する。



神奈川県勤労者山岳連盟 第27期(2009年度)登山リーダー養成学校 募集要項

岩、沢、読図、雪山、登山計画、気象判断など登山者必携である基礎知識、基礎技術およびパーティリーダーとして必要な判断や行動を目的として、神奈川県勤労者山岳連盟では本年度も「登山リーダー養成学校」(通称リーダー学校)を下記のとおり開催いたします。

1. クラス及び募集人数

初級・・・15名程度(初めて受講される方は原則初級となります。)

中級・・・5名程度(原則初級修了者。神奈川県山岳連盟の代表から推薦がある場合は、初めてでも検討します。)

2. 対象者

- (1) 15kg程度の荷物を背負って、一日8時間程度を2日間、一般登山地図に書かれたコースタイムで歩ける方
- (2) 登山中に支障をきたす可能性のある持病等をお持ちでない方
- (3) パーティーのために前向きに取り組める方
- (4) 机上、実技とも一年を通じ8割以上は出席可能な方(理想は10割です)
- (5) 講師及び受講者間の諸連絡はPCメールで、計画書はEXCELを使用していますので、そのような環境の方が望ましいです。 など

3. 目標

共通 山岳パーティのリーダーとして安全管理ができ、「人に連れて行ってもらう登山」から「自らがマネジメントできる登山」ができるようになる。

初級(1) 知識・技術面

クライミング・・・必要なロープワーク、ピレイ、級登攀
沢登り・・・歩行、徒渉、滝登攀、高巻き、ピバーク、
遡行グレード1級程度

読図・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断

登山計画・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策

気象・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策

雪山・・・歩行、雪山独自の危険性とその対応

(2) リーダー&パーティシップ

- ・パーティの意義、リーダーとしての役割の修得

中級(1) 知識・技術面

クライミング・・・ロープワーク、ピレイ等を初級に対して指導援助、級登攀
沢登り・・・遡行グレード2級程度

読図・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断を
初級に対して指導援助

登山計画・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策

気象・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策

雪山・・・ロープを使用する初級登攀

(2) リーダー&パーティシップ

- ・リーダーとして十分機能を果たせる

4. 事前学校説明会

学校の主旨や内容と、受講を希望される方の持っているイメージのミスマッチを防ぐため、下記のとおり事前学校説明会及び第一回机上講習を実施します。

初めて受講を希望される方は必ずご出席ください。

なお、説明を聞いた後に入校を辞退する場合は、4/12(日)までに必ずその旨ご連絡ください。連絡いただかない場合は入校希望と判断します。

4 / 5 (日) 18:30~20:30 かながわ県民センター 710号室
横浜駅西口 徒歩5分

5. 机上講習 毎回机上講習後に次回実技講習の打合せを行います。

毎月第一水曜日の夜に行います。時間と会場は別紙スケジュールをご確認ください。
机上講習を欠席される場合は、都度メールにてご連絡ください。

4月 上述した事前学校説明会、年間必要装備の説明、クライミング基礎

5月 登山計画の意義と重要性

6月 登山の読図

7月 沢登り

8月 夏山気象

9月 アルパインクライミング

10月 遭難対策と救助

11月 冬山気象

12月 雪山に必要な装備・基本技術

1月 登山の法的責任

2月 深雪ラッセル

3月 修了式 終了後打ち上げ

日程及び会場などは予告のうえ変わることもありますのでご了承ください。

6. 実技講習

4月 クライミング(1) 広沢寺

5月 クライミング(2) 湯河原幕岩

6月 読図 丹沢

7月 沢登り(1) 丹沢・奥秩父

8月 沢登り(2) 奥秩父ほか

9月 クライミング(3) 三ツ峠

12月 雪山(1) 富士山

1月 雪山(2) 八ヶ岳

2月 雪山(3) 谷川方面

3月 卒業山行

班単位で計画、行動します。

現地集合は、受講者同士の乗り合い、または講師・スタッフ車の同乗(任意)で。

交通費は各自ご負担願います。

7. 受講費

初級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・40,000円

・それ以外の方・・・・・・・・・・50,000円

中級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・35,000円

・それ以外の方・・・・・・・・・・45,000円

同級2年目以降の受講者は各5,000円引です。

一年間の受講費です。交通費、テン場代等施設使用料、食費、宿泊費、装備費、連絡通信費、振込手数料等は含みません。

8. 山岳保険

労山遭対基金加入の方は最低5口、できれば10口加入をお願いします。

労山以外の方は、捜索救助補償が必ず付いている山岳保険にご加入下さい。

9. 申込〆切

2009年3月末までですが、定員に達し次第それ以前に締め切ることもあります。

10. 申込先

e-mail : kamog-510@mbp.nifty.com

FAX : 0463-88-6664

後藤真一

次頁「第27期神奈川県勤労者山岳連盟リーダー養成学校申込書」に必要事項をご記入のうえ、上記までお送りください。

2009年度リーダー学校スケジュール（予定）

月	机上		
	日程	内容	会場
4月	4/5（日）18:30～20:30	学校説明会、入校式、年間必要装備説明	県民センター710
5月	5/6（水）18:30～21:00	登山計画	県民センター709
6月	6/3（水）19:30～21:30	読図	県民センター603
7月	7/1（水）19:30～21:30	沢登り	県民センター603
8月	8/5（水）19:30～21:30	夏山気象	県民センター602
9月	9/2（水）	マルチピッチ	
10月	10/7（水）	遭難対策	
11月	11/4（水）	冬山気象	
12月	12/2（水）	雪山	
1月	1/6（水）	法的責任	
2月	2/3（水）	ラッセル・雪崩	
3月	3/3（水）	卒業式	

実技		
日程	内容	場所
4/19（日）	クライミング1	広沢寺
5/17（日）	クライミング2	湯河原幕岩
6/14（日）	読図	丹沢
7/12（日）	沢登り1	丹沢
8/22（土）～23（日）	沢登り2	奥秩父ほか
9/12（土）～13（日）	クライミング3	三ツ峠
12/12（土）～13（日）	雪山1	富士山
1/23（土）～24（日）	雪山2	八ヶ岳
2/27（土）～28（日）	雪山3	谷川方面
3/20（土）～21（日）	卒業山行	未定

毎月机上講習時に次回実技の打ち合わせ（役割分担、装備分担など）を行います。

9月以降の時間、会場は決定後随時受講者にお知らせします。

第27期（2009年度）神奈川県勤労者山岳連盟登山リーダー養成学校申込書
希望クラス（初級・中級）

氏名（フリガナ）	性別	生年月日（西暦で）	血液型
所属会（※無所属の方はその旨ご記入下さい）		持病等	
現住所 〒		自宅TEL	自宅FAX
携帯電話	Email（諸連絡用）		
緊急連絡先（ご家族TEL）			
勤務先名称		勤務先TEL	
遭対基金口数（労山の方）または加入保険会社・補償内容・事故時連絡先（民間保険加入の方）			
無雪期一般ルート登山の経験（最近5年間程度の主なものを記入して下さい）			
積雪期一般ルート登山の経験（同上）			
無雪期バリエーション・クライミングの経験（同上）			
積雪期バリエーション・クライミングの経験（同上）			
沢登りの経験（同上）			
あなたがリーダー学校で学習したい内容			

提出先 神奈川県勤労者山岳連盟 教育部 後藤真一 宛

FAX 0463-88-6664 E-mail kamog-510@mbp.nifty.com

提出〆切 2009年3月31日（定員に達した場合は早まることもありますのでご了承下さい）

『群馬県谷川岳遭難防止条例の改正について』を掲載します。

日本勤労者山岳連盟会長 様

群馬県産業経済部観光局
観光物産課長 野口 勤



群馬県谷川岳遭難防止条例の改正について

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から谷川岳遭難防止対策につきましてはご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて群馬県では、近年の谷川岳登山の状況変化等を踏まえ、下記のとおり、昭和42年度から施行してまいりました群馬県谷川岳遭難防止条例の一部改正を行いました。

つきましては、改正内容の趣旨を十分理解していただくとともに、貴協会（連盟）の加盟団体に対して、周知徹底を図っていただきますようよろしくお願いいたします。

今後とも、谷川岳の安全登山の推進につきましてご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 改正内容

第十条（登山届に代わる登山計画書の提出）

登山計画書提出団体として、社団法人日本山岳協会加盟団体に加え、新たに、日本勤労者山岳連盟加盟団体を追加する。

なお、上記2団体以外につきましては、引き続き、「登山届」提出の徹底をお願いしたい。

2 施行日

平成20年12月26日

担 当：観光物産課計画推進係
T E L：027-226-3382
F A X：027-223-1197

◎群馬県谷川岳遭難防止条例新旧対照表

新（改正後）

（登山届に代わる登山計画書の提出）

第十条 山岳団体の連合体であって、都道府県の区域を単位として組織されているもの（社団法人日本山岳協会（昭和四十二年五月二十八日に社団法人日本山岳協会という名称で設立された法人をいう。）又は日本勤労者山岳連盟の構成員であるものに限る。）に所属する団体の会員であって、当該団体又はその代表者から登山の技術、経験等に関し、特に証明書を交付された者にあつては、第八条第一項の登山届に代えて、登山計画書一通を登山しようとする日までに提出することができる。この場合においては、第八条第一項後段の規程を準用する。

旧（現行）

（登山届に代わる登山計画書の提出）

第十条 山岳団体の連合体であって、都道府県の区域を単位として組織されているもの（財団法人日本体育協会に加入している全国的組織の山岳団体の構成員であるものに限る。）に所属する団体の会員であつて、当該団体又はその代表者から登山の技術、経験等に関し、特に証明書を交付された者にあつては、第八条第一項の登山届に代えて、登山計画書一通を登山しようとする日までに提出することができる。この場合においては、第八条第一項後段の規程を準用する。

09クリーンハイク第1回実行委員会の報告

日時 2009.2.23(月) 17時～21時

場所 県民サポートセンター

出席者 13名

高橋、萩原(藤沢山の会)。吉岡、吉田(川崎HC)。関根、宮原(横浜HC)。市川、渡辺(ACY)。磯部(地平線)。金森(みずなら)。砂原(芝笛)。森谷(小田原ナーゲル)。三上。

議事 1、実行委員の自己紹介

2、コース及び実施要領等は1月の自然保護委員会で前回通りの要領での実施が決定しているので、内容の確認及び各係の役割分担を決めた。

3、3月5日(木)県庁に出向き、県の「後援」を依頼する。

以上で実行委員会終了し、続いて講演会を行う。

議題「丹沢の身近な話し、丹沢の自然環境」

講師、羽生田麻衣さん(かながわパークレンジャー、ACY所属)

県の丹沢大山自然再生計画に沿った

これまでの取り組み 丹沢大山の将来像 丹沢の再生に向けて 丹沢大山の課題

等々を紙芝居式のパネルを使って丹沢のよもやまを話された。

なを、講話には実行委員13名と他に講話聴講者5名が拝聴した。

09クリーンハイク第2回実行委員会は、

3月30日(月)19時より県民サポートセンター(604号室)で行います。

講義 労山の「丹沢の水質検査」から見えてくる丹沢

講師 小林朋子さん(17年間労山の水質調査を担当)

丹沢水質調査のお願い

神奈川県連盟自然保護委員会

2009年の丹沢水質調査は、クリーンハイク本番(5月31日)の前日、**5月30日(土)**に予定しております。この意義ある山岳ボランティアに、ぜひ各会のご協力をお願い致します。

今年も、沢コース(3コース)と水場尾根コース(1コース)と名水コース(1コース)、合計5コースで実施します。

各会におかれましては、この調査にぜひご協力いただきたく、ご希望のコースをご検討くださいますよう、お願い申し上げます。なお、要員数は各コースとも2名以上でお願い致します。

コース	場所	試料数と山行形態	担当会
沢1	水無本谷(出合いとツメ)	沢2箇所	募集中
沢2	源次郎(出合いとツメ) と竜神の泉	沢2箇所と 名水1箇所	みずなら山の会
沢3	勘七の沢(出合いとツメ)	沢2箇所	募集中
水場	大倉高原山の家と塔ノ岳の 水場と後沢乗越し	水場3箇所 (尾根歩き)	募集中
名水	葛葉の泉と大山春岳沢水場 とゴマ屋敷の水場	名水3箇所 (ウォーキング)	募集中

(2月現在)

なお、採水場所や採水の方法の説明、採水容器のお渡しなどは5月のクリーンハイク説明会で実施します。

連絡先: 萩原 E-mail:makoto705gorimon@r4.dion.ne.jp

または 小林 E-mail:kobatomo@uitec.ac.jp までご連絡ください。



登山時報 3月号 目次

連載 わたし的一名山ハヶ岳 鳥越章夫 04	連載 碧い南の島だより 雨宮 節 20
上ホロカメットク山雪崩事故が残したもの 04	山で見かけるミョーな人たち 菊地敏之 21
北海道登山研究集会 高橋学察 08	JWAFクリック 28
山岳会の今を考える 08	全国連盟の活動 31
北海道登山研究集会 大谷守正 15	専門委員会活動報告 32
裏磐梯でスノーシュー 大賀由普 18	編集後記 34
加計呂麻島の探検(下) 森田千里 26	インタビュー ヒト 藤田耕史さん 35
<普段着の山>南会津・浅草岳中腹から 鈴木澄雄 03	地元会員特選ミニガイド 洞井孝雄 35
野鳥との出会い エナガ 小枝琢三 福井壽彦 10	茨城・熊の山と盛金富士/八周俊隆
シグナル 登山は冬の時代か 斉藤義孝 12	静岡・達磨山/後藤隆徳 36
現代岩場事情 奥武蔵 日和田山 吉田恵一 安村淳 24	ブックエンド
不思議を発見する山歩き 最終回 佐渡島 小泉武栄 22	『サバイバル』他 斉藤義孝 38

あらかると ギロチンが必要 原貞 39
会報えつらん室 40
オススメ山道具 コンパクトなダウンジャケット 笹原芳樹 42

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計42名（男28 女14）平均 歳

2/1 湯河原幕岩（清掃活動）	2/14-15 谷川岳（県連）	2/21 奥多摩 高水三山
2/1 ハケ岳	2/14-15 西丹沢 檜洞丸	2/21-22 湯河原幕岩～城が崎
2/8 中央沿線 権現山	2/15 表丹沢 三ノ塔	2/22 神楽峰山スキー
2/10-11 谷川岳（県連）	2/15 湯河原幕岩	
2/11 鷹取	2/20-22 谷川タカマタギ山（県連）	

川崎ハイキングクラブ

報告：二瓶 誠 計106名（男51 女55）平均61歳

1/17 湖西連峰/浜名湖(3)	2/1 水仙観賞/鋸南町(2)
1/21 石老山/相模湖周辺(3)	2/7-8 大菩薩嶺/大菩薩(3)
1/25 ユガテ北向地蔵/奥武蔵(44)新年餅つき山行	2/8 巢雲山/箱根(11)
1/27-28 縞枯・茶臼山/北八ヶ岳(2)	2/14-15 小峠、石楠花平/奥日光(8)
1/31-2/1 大山北尾根/丹沢(7)	2/15 縞枯山/北八ヶ岳(13)
2/1 不老山/丹沢(11)例会山行	2/15 本仁田山/奥多摩(3)

アルパインクラブ横浜

報告 = 岸 計38名（男23：女15）平均 歳

2/1 湯河原幕岩1(+1)	2/7-8 ハケ岳、小同心クラック/中山尾根1(+1)	2/15 大室・加入道山1
2/2 明神が岳1(+1)	2/8 谷川岳 一の倉林道3	2/15 奥武蔵天王岩2
2/2 佐久湯川1(+1)	2/11 大幡川四十八滝2(+1)	2/21-22 谷川岳西黒尾根（雪上訓練）5
2/5 千葉・鳥場山1(+他多数)	2/14-15 谷川岳(県連)1	2/22 丹沢山1(+1)
2/7-8 松木沢1(+3)		

横浜ハイキングクラブ

報告 = 真子和美 計58名（男21：女37）平均61歳

1/12-14 草津スキー(12)	2/9-11 湯沢スキー(9)	3/1 幕山～南郷山
1/25 餅つき山行（影信山）(34)	2/15 曾我梅林	3/7 笹尾根
2/1 高川山(10)	2/22 三浦アルプス(南尾根コース)山行予定	3/21 神楽山～御前岩～菊花山
2/7 三ヶ峠山(10)		3/29 鍋割山（トレーニング山行）

横浜こぶしの会

報告=田辺美由紀 計28名（男19人 女9人）平均52歳

2/1 幕岩清掃(2)	2/15 石割山(4)	2/28 蔵山(8)
2/6-8 八甲田スキー(3)	2/16-18 網張温泉スキー(1)	3/1 百蔵山(3)
2/13-15 タカマタギ山(4)	2/20-22 ニセコススキー(1)	

藤沢山の会

報告=中河原昭夫 計85名（男38：女47）平均61歳

2/5 光沢寺(5)	2/21-22 金峰山(16)	3/1 浅間尾根、	3/20-22 鳳凰三山、
2/7-8 北八ヶ岳(8)	2/21-22 杓子山(8)	3/7 明神ヶ岳、	3/28 高水三山、
2/7-8 蛭ヶ岳(10)、	2/28 高松山(9)	3/14 新人歓迎・幕山	4/18 天ぶら山行、
2/15 雪山ハイク(20)	他10山行	3/20 天子ヶ岳、	4/19 総会

相模アルパインクラブ

報告：水村和也 計41名（男29：女12）平均 歳

1/24 幕岩(1)	1/24-25 加入道山(3)	2/07-09 聖岳(1)	2/21-22 三頭山～御前山(1)
1/24-25 阿弥陀岳北稜(1)	2/01 幕岩(1)	2/11-広沢寺(2)	2/22 丹沢山(2)
1/25 菰釣山(1)	2/01 幕岩(7)	2/14-15 関東ブロック救	2/22 幕岩(6)
1/24-25 城ヶ崎・幕岩(1)	2/07 幕岩(1)	助隊深雪搬出訓練(3)	2/25-28 野沢山スキー(1)
1/24-25 焼山～蛭ヶ岳(2)	2/08 つづら岩(2)	2/15 丹沢山(1)	3/01 広沢寺清掃(13)
1/24-25 幕岩(5)	2/07-08 戸隠(1)	2/15 幕岩(1)	2/28-3/01 富士山(1)
1/23-25 赤岳(1)	2/07-08 黒川鶏冠山(2)	2/21 城ヶ崎(3)	3/07-08 秋葉山・鳳来山(2)
1/24-25 幕岩(1)	2/08 城ヶ崎(1)	2/21 大山(1)	
1/27 三峰尾根(1)	2/08 大山(2)	2/21-22 タカマタギ(2)	

こまくさハイキングクラブ

報告：山田日出子 計15名（男4：女11）平均65歳

1/11 湘南七福神巡り（逗子、葉山）(12)	2/22 丹沢大山
1/25 鎌倉 江ノ島七福神巡り(9)	3/8 逗子久木池果樹園
2/8 田浦梅林から塚山公園(13)	3/22 石老山

カモの会

報告:志村杏子 計62名(男39:女23) 平均35歳

2/1 鍋割山(2)	2/15 西吾妻山(5)	2/28 城山(2+1)
2/7 城山(3)	2/21 上州武尊(2)	その他、個人山行記録多数あります。 ヤマレコでご確認下さい。 http://www.yamareco.com/
2/7 中山尾根(1+1)	2/21-22 新穂高温泉~西穂(2)	
2/11 笛吹川東沢アイス(4)	2/21-22 タカマタギ山L学校(8)	
2/11 幕岩(2+1)	2/22 鍋割山(2)	
2/14-15 2009関東ブロック救助隊交流会(9)	2/22 上州武尊(2+2)	
	2/22 西吾妻山(3+1)	

雪登山の会

報告:小緑岳志 計19名(男14 女5) 平均43歳

2月1日 足尾・大岩沢(F1下まで)(1)	塚)(1)
2月4日 湯河原・幕岩(2)	2月18日 湯河原・幕岩(2)
2月7日~8日 白毛門(2)	2月21日 十石山(山スキー)(2)
2月8日 伊豆・城ヶ崎(1)	2月21日~22日 ハヶ岳(ジョウゴ沢、大同心稜~横岳)(2)
2月8日 ハヶ岳・峰の松目沢(2)	2月22日 つづら岩(4)
2月15日 関東ブロック救助隊訓練(土合)(1)	
2月17日 富士・宝永山(水ヶ塚-宝永山-第3火口-水ヶ	

やま++

報告:栗田 彰 計16名(男11:女5) 平均45歳

1/31-2/1 新年会・麦草ヒュッテ(12)	2/14-15 雪山レスキュー(2)	3/7-8 三頭山
1/31-2/1 雪崩訓練・入笠山(1)	2/15 仏果山他(1)	3/9 丹沢山
2/5 椿丸マイナー(2)	2/18 仏果山(1)	3/21 北信州・羽広山BC
2/8 根古岳BC(6)	2/21-22 タカマタギ(1)	3/中旬 浅草岳・守門岳BC
2/14 椿丸マイナー(7)	2/28 セーメーバン(5)	
	3/1 大山三峰(マイナー)(1)	

山ブキの会

報告:青柳 計7名(男:女7) 平均63歳

08/12/2 倉岳山	沢山	山	09/3/15 岩殿山
08/12/7-8 北八ヶ岳 北横岳	08/12/28 高水三山	09/2/8 鍋割山	09/3/19 景信山
08/12/12 高尾山	09/1/3 景信山	09/2/11 景信山	09/3/29 大山(丹沢)
08/12/18-19 塔の岳、丹	09/1/12 高尾山~景信山	09/2/22 高川山	09/4/24-25 西上州
	09/1/17-18 丹沢山-鍋割	09/3/1 日の出山	

山岳素行重人メーグリ家

報告:後藤真一 計6名(男3:女3) 平均 歳

2/01 東丹沢2	ラ沢~ソグラ沢左岸尾根1	2/28 谷川東尾根1+3
2/01 尾白川下流域 ガンガノ沢アイス1+1	2/13-15 千畳敷(日本勤労者山岳連盟雪崩講習会)1+	2/28 入笠山滑走1+
2/01 南八ヶ岳/大同心北西稜1+2	2/18 表丹沢/水無川水系 沖大沢1	3/01 東丹沢/広沢寺(第9回広沢寺清掃集会)2+104
2/01 湯河原幕岩(岩場環境保全活動)1+128	2/21 北横岳~雨池1+3	3/04 湯河原幕岩1+2
2/06 秩父/二子山 祠・弓状エリア1+1	2/21-22 タカマタギ山(県連L学校)1+18	3/07 西丹沢/世附権現山~ミツバ岳(読図講習会)1+
2/07 湯河原幕岩2+1	2/21 東丹沢/広沢寺(クライミング講習会)1+1	3/08 表丹沢/ヤビツ峠~塔ノ岳~大倉尾根(調査山行)1
2/07-08 表丹沢/沖ノ源次郎沢 ミソ岩(クライミング講習)1+2	2/21-22 三頭山~御前山1+1	3/17 表丹沢/山岳スポーツセンター(秦野市遭対協救助隊訓練)1+
2/07-08 阿弥陀岳北西稜1+1	2/24 表丹沢/水無川水系 深沢1	
2/09 米子不動アイス1+1	2/24 湯河原 幕岩1+2	
2/11 表丹沢/水無川水系 ソグ	2/25 湯河原幕岩 雨天のためBig Rock2+1	



県連のスケジュール

3月		4月		5月	
1 日		1 水		1 金	
2 月	常任理事会	2 木	H Cリーダ学校入校式机上講習	2 土	
3 火		3 金		3 日	
4 水		4 土		4 月	
5 木		5 日	登山リーダ養成学校説明会 救助隊総会	5 火	
6 金		6 月	常任理事会	6 水	登山リーダ養成学校机上講習
7 土		7 火		7 木	H Cリーダ学校机上講習
8 日		8 水		8 金	
9 月		9 木		9 土	H Cリーダ学校お ^ろ ション計画
10 火	事務局長会議 連盟news発行	10 金		10 日	H Cリーダ学校お ^ろ ション計画
11 水		11 土		11 月	
12 木		12 日	H Cリーダ学校実技講習	12 火	事務局長会議 連盟news発行
13 金	登山リーダ養成学校修了式	13 月		13 水	
14 土		14 火	事務局長会議 連盟news発行	14 木	
15 日	定期理事会 第14回登山者自然保護集会	15 水		15 金	
16 月		16 木		16 土	
17 火		17 金		17 日	H Cリーダ学校実技講習 登山リーダ養成学校実技講習
18 水		18 土		18 月	第4回刈 ^り 刈 ^り 実行委員会 事務局部会
19 木	事務局部会	19 日	登山リーダ養成学校実技講習	19 火	全国理事会 / 救助隊運営会
20 金		20 月	第3回刈 ^り 刈 ^り 実行委員会 事務局部会	20 水	
21 土		21 火	全国理事会 / 救助隊運営会	21 木	
22 日		22 水		22 金	
23 月		23 木		23 土	
24 火		24 金		24 日	
25 水		25 土		25 月	第5回刈 ^り 刈 ^り 実委ミーティング
26 木		26 日		26 火	
27 金		27 月	5月度常任理事会	27 水	
28 土	登山リーダ養成学校卒業山行	28 火		28 木	
29 日		29 水		29 金	
30 月	第2回刈 ^り 刈 ^り 実行委員会	30 木		30 土	水質調査 刈 ^り 刈 ^り 前夜祭
31 火				31 日	2009クリーンハイク

事務局長会議報告 2月10日

出席会 川崎労山、川崎H C、川崎柴笛クラブ、横浜H C、藤沢山の会、小田原ナーゲル山の会、相模A C、久良岐H C、こまくさH C、カモの会、雪童山の会、やま++、山ブキの会 以上13会

県連からの報告：

- ・定期理事会の案内。
- ・全国自然保護集会報告会の案内。
- ・広沢寺岩場清掃集会の案内。
- ・遭対部「ファーストエイド講習会」の案内。
- ・自然保護委員会報告。

活動報告から

- ・川崎ハイキングクラブ 大山北尾根ネクタイ尾根読山行の報告、3/14石老山オリエンテーリングの紹介。
- ・川崎柴笛クラブ アイスクライミング 尾白川、ハケ

岳南沢大滝の報告

- ・横浜ハイキングクラブ 影信山での餅つき山行報告
- ・藤沢山の会 1/17,18富士山雪トレ 他パーティの滑落事故に遭遇
- ・相模アルパインクラブ 都連盟自然保護委員会主催の60Km水の道ウォーキングの参加報告
- ・こまくさハイキングクラブ 湘南七福神、田浦梅林の報告
- ・カモの会 山スキー、低山ハイク、フリークライミングが多い
- ・雪童山の会 2/7、8で白毛門雪洞登山
- ・やま++ 北八つ麦草ヒュッテで新年会 スノーシューと山スキーで雪山ハイク

事故報告

- ・相模アルパインクラブ 2/7城ヶ崎海岸ファミリーエリアファザークラックでトップロープ中に転落しヘリで搬送。足の骨折